

支部夏期繁忙 要求を提出



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)

今年度の夏期繁忙期における全国の引受予想個数は、ゆうパック、ゆうパケットとも前年度とほぼ同じで、昨年同様の繁忙対策が求められます。また、気象庁の3か月予報(6月～8月)では、今年夏も全国的に平年より気温が高いと予想されています。

円滑な業務の遂行および安全確保のため、6月11日、支部は夏期繁忙要求を提出しました。

要求(抜粋)

5、ゆうパック区分機の最大処理能力は1時間あたり9000

個ということですが、1シユート1～2人ではとても積み込みができる状況にありません。繁忙期のゆうパック処理において多量連続供給の場合、破損ゆうパックが普段よりも多く見られます。ゆうパック区分機1シユート2名(4名供給の場合はシユート3名)の配置にし、短期アルバイトだけの配置は行わないこと。また取り回し作業に長期間雇用社員が配置できるようにすること。



7、夏期繁忙期ではポータス商戦による特割定形外郵便物も増え、重量のある水物ゆうパックも多くなります。過積載防止

対策として、過去に「米袋ゆうパックのパレットへの積載は、パレット内下3段まで」という目安が周知されました。水物ゆうパックや特割パレットケースにおいてもパレット積載の目安を示し、周知を徹底するとともに、各局にも周知するよう支社に要請すること。また、運送業者のトラックスケールによる計量を徹底し、過積載の場合は速やかな荷下しに対応すること。

9、地域区分局間の差立パレットの滞留防止の観点から、広島局と中国支社との連携を拡充すること。

10、線状降水帯豪雨・河川の氾濫や土砂災害など、自然災害発生時における出退勤には迅速・柔軟に対応すること。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!